

○ホームページ:「はらまち九条の会」で検索してご覧ください。  
「会報」も創刊号から最新号まですぐに読むことができます。

なぜ日本は、拉致問題を直接  
言っていない(金正恩)



# 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No. 316  
18(平成30)年5月20日(日)発行

目が離せない米朝韓中の首脳会談 **なかなか人名も覚えられません!**  
文在寅(ムン ジェイン) 韓国大統領・金正恩(キム ジョンウン) 朝鮮労働党委員長  
李雪主(イ ソルジュ)・金与正(妹・キム ヨジョン) 軍事境界線を越える韓朝首脳▶

## 《自民党改憲草案 を考える⑳ 与党内のジレンマ》

○9条改憲推進の与党ですが、様々なジレンマや反対意見を抱えています。



### ＜安倍晋三首相の9条改憲提案＞

◆9条1項(戦争の放棄)、2項(戦力の不保持、交戦権の否認)を変えずに残し、自衛隊の存在だけを9条に明記する「自衛隊の合憲性は変わらない・自衛隊の違憲論の余地をなくす・自衛隊の任務や権限に変更はない」と主張

### ＜異論や反対意見＞

- ◆：与党 ◇：野党 (昨年来の『朝日新聞』より)
- ◆「9条2項は削除すべきだ」(石破茂・元防衛相。のち安倍案に同意)
- ◆「2項削除は無理だ。国民投票がもたない。その前に公明党が賛成しない」(党改憲推進本部特別顧問の高村正彦副総裁・BS番組で)
- ◆「安倍晋三首相は憲法改正ありきだ。首相提起の9条改憲案について、必要はまったくない。次の宏池会主軸の政権では9条は一字一句変えない決意が必要だ」(岸田派(宏池会・47人)名誉会長の古賀誠。4月23日、福岡市での講演で)
- ◆「優れた憲法だと思っている。特に国民主権、基本的人権の尊重、9条を含む恒久平和主義はこれからも堅持していくべきだ。国民の理解の成熟がなければ、発議して国民に信を問うことは時期尚早になる」(公明党の山口那津男代表)
- ◇「自衛隊が合憲であることは、自民党歴代政権がずっと言ってきた。いまさら条文に書く必要性はない」(立憲民主党・枝野幸男代表)
- ◇「あとから別の項目で自衛隊が明記されたら、戦力不保持を定めた2項が空文化する。そうすると無制限の海外での武力行使が可能になってしまう」(共産党・志位和夫委員長)
- ◇「何も変わらないと言うなら、自衛隊を書き込む合理性がなくなり、国民投票をやるといふ説得力に欠ける」(民進党の大塚耕平代表)

国民投票費  
850億円  
資金が豊富な  
改憲派が  
テレビCMを  
独占する

### 世論調査は **しほむ改憲機運**

**安倍政権で改憲 反対58%**  
**9条改憲案 反対53%**  
(5月2日『朝日新聞』)

**自衛隊9条明記 反対31%**  
**賛成27%** (5月3日『毎日新聞』)

### 5月3日の新聞社説は **改憲推進vs批判**

- 「『九条』では国民守れない 平和構築へ自衛隊明記せよ」(「産経新聞」)
- 「違憲論の払拭を図れ」(「読売新聞」)
- 「改憲を語る資格あるのか」(「朝日新聞」)
- 「首相権力の統制が先決だ」(「毎日新聞」)
- 「改憲の実現にはまず環境整備を」(「日経」)
- 「いま改める必然性はない」(「北海道新聞」)
- 「安倍改憲 再考を求める」(「新潟日報」)

会員さんのうた

原発事故避難者の切なさを詠う

いわき市 吉田信雄さん (82歳)

◇吉田さんは福島第一原発の南一、5kmの大熊町夫沢に、百歳を超えるご両親など大家族9人で暮らしていました。◇しかし、三・一一の原発事故で穏やかな生活は一変、会津若松市に避難を強いられ、現在も自宅には戻れずいわき市に住んでいます。◇原発事故に翻弄された切なさを次のように詠い、各紙や短歌誌に掲載され、様々な大会で受賞され、『歌集 故郷喪失』も出版されています。

事故前から、原発には不安を抱いていました

排気塔の灯点滅をつづけつつかの闇深く原子炉のあり

孫とゐるこの喜びも素直には容れがたくをり原発の町に

原発事故で故郷を離れた避難者の悲しみや憤りを詠む

合言葉は家に帰りたし避難せる同郷の人らスパーに会へば

おびただ 夥しき原発の本が売られをり ああ何ごとも商売になる

廃棄物の貯蔵地なるらむわが郷の墓にみ祖の骨を拾えり

線量の高さを言ひてとどめしも妻は形見の帯を離さず

一時帰宅もこれが最後と雑草に埋もるるわが家を振り返りたり

原発の事故に潰えぬ四世代ともに住みぬしふるさとの日々

七度目の正月を迎ふいまもなほ帰還は叶はず原発の町

◇本会会報のNo.167には吉田さんの震災体験を、No.242には短歌作品二一首を掲載しています。



**県内モニタリングポストを大幅に撤去か** 原子力規制庁は、県内の放射線量測定装置（モニタリングポスト）3,000カ所のうち、毎時0.23μSv以下の2,400カ所を撤去する方針を示した。その理由が「風評被害の源になる」と説明していますが、東京五輪を前に原発事故を無かったことにしたいだけなのか。



《事務局より》

「金は一代、放射能は末代」と力説されていた6月17日の広瀬隆さんの講演会は中止になり残念です。ご健康の回復を祈念申し上げます。

代替の映画『コスタリカの奇跡』上映会は、福島県・東北地方初で混雑が予想されます。総会は1時から、映画は2時から90分間です。

羽生結弦さんら若者たちの活躍に対し、政治家や官僚など大人の体たらく。忖度のために平気で嘘をつき、日本人の「恥の文化」はどこに消えたのか。「すべての道は安倍夫妻に通ず」です。

会報のイラスト・カットに質問がありました。編集者が真似と盗作？で手描きしています。

**「はらまち九条の会」事務局** <市外局番はTEL0244> **健康のためにウォーキング**  
 ○会長：平田慶肇(ひらた けいいち) TEL24-1211・FAX24-4825  
 ○事務局長：早坂吉彦 〒975-0016南相馬市原町区仲町2-161 TEL090-2975-2508  
 ○事務局次長：山崎健一 TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com  
 ○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892  
 ○石田賢二 TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○志賀勝明TEL090-9530-5524  
 ○HP：大浦祥見 TEL24-0704 ○栗村文夫・桂子TEL090-8851-6904 ○田中徳雲 TEL090-2796-4066

